

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	BX108／簿記2 (Bookkeeping 2)		
担当者名 (Instructor)	山下 奨(YAMASHITA SHO)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	ECX1810	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	BX106・108:経済政策学科		

授業の目標 (Course Objectives)

基本的な簿記の仕組み・役割を理解することを目標とする。

The purpose of this course is to learn to keep accounts and to make basic financial statements.

授業の内容 (Course Contents)

複式簿記とは、複雑な企業の取引を、数少ない取引要素で分類・整理・記録することにより、企業内外の関係者にとって有用な会計情報を提供することを可能にするシステムである。本授業では、複式簿記の基本的な仕組みを学ぶとともに、財務諸表はどのように有用か、近年のトピック等について、適宜講義する。授業内でも学生が問題演習に取り組む機会を設ける。

Double-entry bookkeeping is a system that classifies, organizes, and records complex business transactions using a limited number of transaction elements to provide useful accounting information to related parties inside and outside the business. In this class students learn the basic framework for double-entry bookkeeping as well as how to use the financial statements and discuss recent topics and other issues as appropriate.

授業計画 (Course Schedule)

1. 受取手形と支払手形(1)
2. 受取手形と支払手形(2)
3. 有形固定資産(1)
4. 有形固定資産(2)
5. 貸倒損失と貸倒引当金
6. 資本
7. 収益と費用(1)
8. 収益と費用(2)
9. 税金、伝票(1)
10. 伝票(2)
11. 財務諸表(1)決算と決算手続
12. 財務諸表(2)試算表の作成、棚卸表の作成と決算整理事項
13. 財務諸表(3)精算表の作成、財務諸表の作成
14. 振り返り

授業時間外(予習・復習等)の学習 (Study Required Outside of Class)

簿記は、授業を一方的に聞いただけでは身につかない。授業前にテキストの該当箇所を読み、授業後は、次の週の授業までに、テキスト・ワークブック等の問題を繰り返し解いて体に染み込ませること。

成績評価方法・基準 (Evaluation)

筆記試験(Written Exam)(80%) / 授業への出席ならびに積極的参加、ミニテスト、課題の提出(20%)

以上の評価方法・基準を基本とするが、詳細は担当教員からのアナウンスで確認のこと。

【2022年3月29日変更(変更理由:誤記修正 変更前の記載内容:筆記試験(Written Exam) 70%,平常点(In-class Points) 30%, 授業への出席ならびに積極的参加、ミニテスト、課題の提出(30%))】

テキスト (Textbooks)

開講時(9月)に各担当者が指示する。

参考文献 (Readings)

1. 渡部裕亘・片山覚・北村敬子、2022、『検定簿記講義 3級商業簿記 2022年度版』、中央経済社
2. 渡部裕亘・片山覚・北村敬子、2022、『検定簿記ワークブック 3級商業簿記』、中央経済社
3. 滝澤ななみ、2021、『スッキリわかる 日商簿記 3級 第12版 [テキスト&問題集]』、TAC出版
各担当教員から適宜紹介する。

その他(HP等)(Others(e.g.HP))

上記授業計画は一例である。開講時に各担当教員が説明する。
本講義は、会計関連科目を履修するための先修科目として位置づけられている。
簿記検定・税理士・公認会計士等の受験も積極的に目指しましょう。

注意事項(Notice)